

周囲は真っ暗な死の世界であるのに、地球は生物で満ち溢(あふ)れている。

「周囲は～世界である」と、「地球は～満ち溢れている」が、「のに、」で結ばれています。二つの文が対比されていると解釈してもいいと思いますし、逆接されていると考えてもいいと思います。ここでは、前者の解釈を取り、両者を、**while** で結びたいと思います。

対比となると、比べている対象を意識してしまいます。前者は「周囲」と、後者は「地球」の特徴が比べられていますよね。それを考えながら、進みます。

## A. 周囲は真っ暗な死の世界である

---

述語から入ります。

### (a) 周囲は真っ暗な世界である。

---

イメージを膨らませると、日本語にも出ている「世界」で表されるものや、【漆黒】、位置関係として【周囲】など、いろいろな攻め方ができそうな気がします。ここは最後に挙げた【周囲】を述語として表現したいと思います。【何かの周り】というイメージから、

#### ▪ S is around A 「SはAの周りにある」

を使います。

#### (1) S is around A

Aには【中心にあるもの】が入ります。ここでは the Earth ですね。【周りにあるもの】である S には「真っ暗な死の世界」に当たる英語を探します。端的には the world です。「真っ暗な」に当たる dark をつけて、S と A にそれぞれ入れていきます。

#### (2) the dark world is around the Earth

### (b) 死の

---

「その死の世界に」でやった時と同様、dead world に自信がありません。同じく、確実性を狙って、(S)(V)を使った関係詞(S)(V)という形

で、表すことにしました。

同じ展開です。ここで書かれている「死の」は、【地獄】とかではなく、【なにもない】というイメージです。【なにもない】というイメージが難しいので、**逆のイメージを英語にして、否定文で処理をする**という技術を使います。逆のイメージは、【なにかいる】です。先ほどは **survive** を使いました。ここでは、別の表現の、

▪ **S exist 「Sは存在する」**

を利用します。【存在する主体】を表す **S** に入るものは【生物】です。ここでも、**life** を使ってみます。

(3) **life exists**

これを否定文にします。

(4) **no life exists**

最後に関係詞節にするために **where** を直前に置いておきます。

(5) **where no life exists**

(c) (a) + (b)

---

関係詞節である(4) **no life exists** を、(2) **the dark world is around the Earth** の **world** の後ろに置きます。

(6) **the dark world where no life exists is around the Earth**

この関係詞節で修飾されている先行詞 **the dark world** で表されているものは、他にもいくつか存在していて、それらと区別されている、つまり『限定されている』というわけではありません。なので、ここでは非制限用法を用い、関係詞節の前後にカンマを入れておきます。

(7) **the dark world, where no life exists, is around the Earth**

**B. 地球は生物で満ち溢(あふ)れている。**

---

「満ち溢れている」から、

- **S is filled with A 「S は A で満たされている」**

は浮かべやすいかもしれません。【満たされる場所】である S には the Earth、【たくさんあるもの】である A には life を入れます。

(8)        **the Earth is filled with life**

C. A. + B.

---

(7) the dark world, where no life exists, is around the Earth  
と(8) the Earth is filled with life を、予定通り , while でつなげます。

(9) The dark world, where no life exists, is around the Earth, while  
the Earth is filled with life.

いざつなげたものの、**the Earth** が二つ、近くに並びすぎていると感じました。2つ目を **it** にする手が浮かんだのですが、**the dark world** や **life** などを指示してしまいかねません。ここは別の表現をもってきて、**the planet** とすることにしました。これはちょっと難しいかもしれませんね。

(10) The dark world, where no life exists, is around the Earth, while  
the planet is filled with life.

### Model Answer

The dark world, which no life exists, is around the Earth, while  
the planet is filled with life.